

2019年度
第②回



せいてん講座 @北御堂

開催報告

本誌執筆陣による仏教講座「第2回 せいてん講座@北御堂」を十月八日(火)に開催致しました。講師は、「幸せってなんだろうー悪人正機の倫理学」を連載中の藤丸智雄氏。「いつの間にかの倫理学」と題し、「自由意志」をキーワードに、「幸せとは何か」について考えてくださいました。

* * *

倫理学は、二五〇〇年前のギリシャに出たアリストテレスに始まります。彼は、人間には理性があり、理性によって善悪を判断し行動して、幸福になることができると思えました。この理性が成立するためには「自由意志」の存在が不可欠なのです。しかし、私たちは意志の世界だけに生きているのでしょうか？例えば、なぜ私たちには、「子どもを生む」という表現より、「子どもが生まれる」のほうがしっくりくるのでしょうか？そこには、私や誰かの意志ではない、何か大きなはたらきを感じているのではないのでしょうか。

倫理学と同じく二五〇〇年前に釈尊によって説かれた仏教も「自由意志」と深く関係しています。ただし、倫理学が「理性スタート」だったのに対して、仏教は「煩惱スタート」だったのです。仏教は、倫理学のように、人間には自由意志があり理性があつて、善悪を判断していけるという立場

とは異なります。人間は簡単に善を行うことができないという立場なのです。それほど煩惱が人間に根深いと捉えていた。そういった仏教の人間観は、「さるべき業縁のよほさば、いかなるふるまいもすべし」(「歎異抄、八四四頁」と仰った親鸞聖人のところで極まっていると言えます。

「幸せとは何か」を考える時、あたかも意志によって私が決めていて、誰かが決めているとだけ世界を認識することによって、私たちは何かを失っているのではないのでしょうか。つまり、私に主体が不明確な形ではたらいっているものが見えにくくなっているように思うのです。私たちが、通常意識されない大いなるものとつながっており、そのはたらきが「いつの間にか」いたり屈き、「いつの間にか」支えられている。そして、そのはたらきを「わかる」ではなく、「心で感じる」ところに、「幸せ」というものがあるのでしょうか。



受講者の皆様からは、「とてもワクワクする内容で、刺激を受けました」、「(分かる)ではなく(心で感じる)が行動にという言葉がとても印象に残りました」などといった感想をいただきました。

【第3回の案内】

日時	2020年2月12日(水) 18:30 ~ 20:25
場所	本願寺津村別院(北御堂) 二尊堂 *地下鉄御堂筋線「本町」駅すぐ
講師	壬生 泰紀氏 (龍谷大学非常勤講師)
講題	阿弥陀仏像の源流をたずねて
受講料	無料 お申し込み 郵送・FAX又はWeb
持ち物	念珠 筆記用具
お申し込み先	浄土真宗本願寺派(西本願寺)総合研究所 http://j-soken.jp/join/10444/ 〒600-8349 京都市下京区堺町92 TEL 075-371-9244 FAX 075-371-5761



壬生 泰紀氏